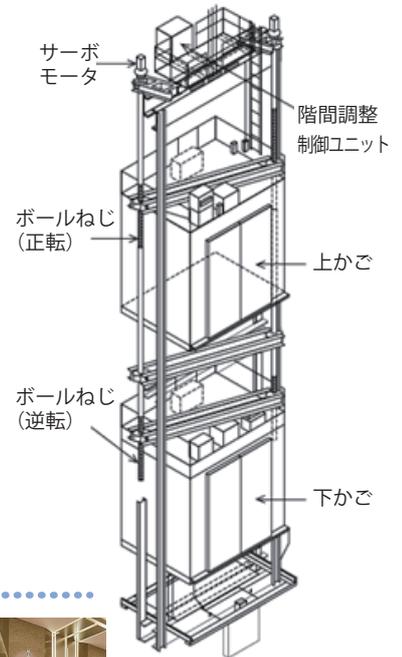


TOSHIBA

大容量、高効率を可能にした

東芝エレベータの ダブルデッキエレベーター

東芝エレベータのダブルデッキエレベーターは、世界初の階間調整機能で自由度の高い建物設計を実現し、上下二つのかご室がご利用者の利便性を向上します。高層ビルの輸送手段としてスペースの確保や運転効率の両面で大きな力を発揮します。



Point 1

かご室がダブル！乗員増で輸送力は約 1.9 倍

ひとつの昇降路に、かご室が縦に二つ配置されたダブルデッキエレベーター。シングルデッキの約 1.9 倍以上のご利用者を輸送でき、2 台分がひとつの昇降路に納まるので、輸送効率の向上と省スペース化を実現。在館者が多い大規模高層ビルなどに対して最適な移動空間をお届けします。

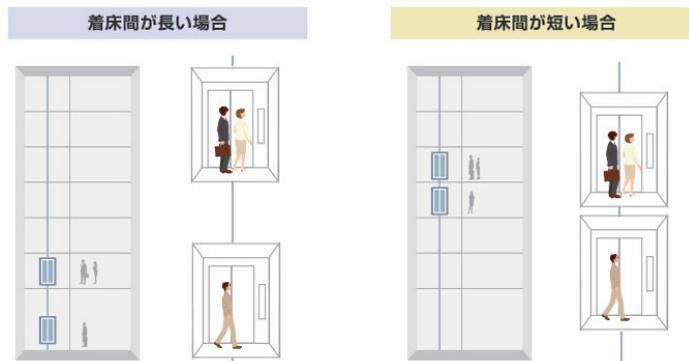


多くのお客さまを運ぶ六本木ヒルズのダブルデッキエレベーター

Point 2

独自の階間調整機能

高層ビルのエントランス階は、他階よりも天井が高いことが多く、各階床間の高さ（階間寸法）が異なります。そこで私たちのダブルデッキエレベーターは、世界で初めて上下のかご間の距離を着床階の階高に合わせて自由に調整できる独自の階間調整機能を搭載。より自由度の高い建物設計を実現します。

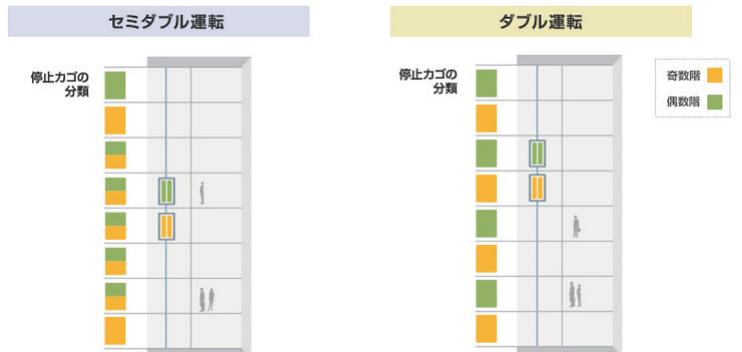


階床間の高さが異なっても階間を調整してスムーズな移動が可能になります。

Point 3

運転方式の選択で運転効率がアップ

ご利用者の時間帯などに合わせて運転方式を切り替え、上下二つのかご室の着床階を設定することができ、より効率的な運転が可能になります。



上下のかごが各階に着床する「セミダブル運転」と下かごを奇数階、上かごを偶数階に設定して着床する「ダブル運転」を基本に、状況に合わせた運転が可能です。

東芝エレベーター株式会社

Toshiba Elevator and Building Systems Corporation